

光技術 革新と進化がもたらす社会

日時 平成27年1月31日(土)
17:00開会(16:30開場)

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
(仙台市青葉区川内40)

光通信が実用化されて半世紀。光ファイバー、半導体レーザー、発光ダイオード等、東北大学は、その根幹を成す革新的技術を世界に送り出してきました。高速大容量通信の進化はとどまることを知らず、今日の高度なIT社会を支えています。本レクチャーシリーズでは、青色発光ダイオード(LED)の発明で、2014年ノーベル物理学賞を受賞した米カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授の中村修二氏を招き、最先端の光技術と、その技術によってもたらされる未来社会を展望します。

参加者募集

入場無料

高校・大学生 300人
一般 700人

イントロダクション

『光を放つ半導体』

秩父 重英

東北大学多元物質科学研究所教授



1963年8月、東京都生まれ。88年慶應義塾大学院修士課程修了。同年東芝総合研究所入社。94年慶應義塾大博士課程を修了し、同年東京理科大学助手。筑波大助教授を経て、01年科学技術振興機構・創造科学技術推進事業・中村不均一結晶プロジェクト参画。07年から東北大多元物質科学研究所教授。窒化物・酸化半導体光デバイス研究に従事。10年度文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。仙台市在住。

東北大学講演

『光通信技術はどこまで進化するのか』

中沢 正隆

東北大学
電気通信研究機構長
東北大学
電気通信研究所教授



1952年9月、山梨県生まれ。80年東京工業大学院博士課程修了。同年日本電信電話公社入社後、マサチューセッツ工科大客員研究員、NTT R&Dフェローを経て、99年東北大電気通信研究所客員教授、01年同教授。10~12年同所長。エルビウム光ファイバー増幅器(EDFA)、光ファイバー中の非線形光学効果、ソリトン通信、フェムト秒パルスレーザー、デジタルコヒーレント通信などの研究に従事。紫綬褒章、学士院賞などを受賞。06年ノーベル物理学賞候補者として米学術情報社が予測。仙台市在住。

特別講演

『窒化インジウムガリウム青色LEDと紫色半導体レーザー(仮題)』

中村 修二氏

2014年ノーベル物理学賞受賞
カリフォルニア大学
サンタバーバラ校(UCSB)教授



1954年5月、愛媛県生まれ。79年徳島大大学院修士課程修了。同年徳島県阿南市の日亜化学工業入社。88年フロリダ大留学後、青色発光ダイオードの研究を始め、93年に製品化。94年徳島大から博士号取得。99年日亜化学工業退社、00年から米カリフォルニア大サンタバーバラ校教授。14年ノーベル物理学賞受賞。カリフォルニア州在住。米国籍。

宛先 河北新報社企画事業部「東北みらいプロジェクトレクチャー」係

締め切り

応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、高校・大学生の場合は学校名と学年、電話番号、参加人数(2人まで)を明記し、Eメール、ファクス、はがきにより下記までお送り下さい。

※応募多数の場合は抽選となります。聴講券の発送をもって当選通知とさせていただきます。

◎Eメール j-oubo@po.kahoku.co.jp ◎ファクス 022-211-1221 ◎はがき 〒980-8660(住所記載不要)

問合せ 河北新報社企画事業部 TEL.022-211-1332【平日9:30-17:30】

1月16日(金)
必着